



# 町長回誌

## No.238

町長日誌の第 238 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

### 8月18日 (金曜日) AM 11:00

お盆を中心に夏季休暇を頂き今日から仕事に復帰しました。溜まっていた書類の決裁やら打ち合わせなどが終わりやっとパソコンの画面に向かうことが出来ました。それにしても昨日(17日)の暑かったことと言ったら凄かったですね。雄武・滝上では猛暑日(35度以上)となりました。興部でも33.3度まで上がったようです。4~6日の大雨以降高くても20℃程度と涼しい日が続いていましたが突然の高温に体が付いていかないのではと思うほどでした。心配された台風7号は本道上陸と言う最悪のパターンにはならず、生育良好な家畜用トウモロコシへの被害が免れました。四年ぶりの開催を予定していた「おこっぺ夏祭り」は残念ながら雨で全てが中止となり、6日総合センターにおいて走裕介ミニコンサートを始め特産品即売会や抽選会などが行われ楽しい一時でした。しかし、海に流れこんだ流木等は大量で漁業関係者はその処理に追われました。大雨により水温の高い海水が冷えて不漁のマスが押し寄せてくれることを願っていたのですがどうも叶わぬようです。

### 7月28日 (金曜日)

町の運営は「一般会計」と「特別会計(国保・水道等)」、「企業会計(病院)」の三会計で構成されています。しかし、特別会計は国民健康保険・介護保険・上下水道等皆さんからの保険料や使用料金で運営され不足分を一般会計から応援する会計です。病院のような企業会計は診療報酬など民間医療機関と同様の収益が発生する会計として区別されていますので、町の財布と言えば「一般会計」と考えて良いと思います。令和5年度の一般会計の予算は50億220万円ですが、このうち皆さんが納める町民税や固定資産税・軽自動車税・たばこ税で約6.2億円、公営住宅などの使用料と皆さんが直接支払う窓口手数料が1.07億円、町有林の立木売り払いなど財産収入や寄附金などで約1億円ですから町民や町としての収入は約8.3億円と僅か16%にしすぎません。これでは町は運営できませんので国税収入を再配分して交付する「地方交付税」と言う制度があります。この交付税は税収の少ない地方自治体に交付されるもので北海道も交付されています。交付されない自治体は東京都等僅かですが、あまりにも税収格差が大きいため国税を配分して地方を成り立たせているのです。さて、本日「交付税額」が決定したと通知がありました。交付額は23億1393万2千円です。しかし、この交付税には7月に交付される「普通交付税」と12月・3月に交付される「特別交付税」があります。さて、今年度予算では普通交付税22億5千万円、特別交付税2億円、合わせて24億5千万円を見込んでいます。この様に町の収入のほぼ半分は国から地方に配分される「交付税」によって町の運営が成り立っていることをご承知おさください。ちなみに7月分の普通交付税は予算より少し多かったので有効に活用したいと考えています。

### 8月6日 (日曜日)

まるで前線が町の上に停滞しているような気象状況から予報以上に雨量が多く興部川・藻興部川・ルロチ川・沙留川いずれももう少しで避難指示と言う水位にまで達していました。幸いにも6日朝方で雨は小降りになりましたので一安心となりました。この大雨では一日当たりの降水量がこれまで一位の記録だった2016年8月21日の108mmを抜き、5日から6日にかけて119.5mmと興部町の記録更新となる降水量でした。ちなみに4~6日の総雨量は137mmでした。なお、この大雨により興部川河川敷パークゴルフ場の水没と町道住吉-富丘線で農地の土砂が町道内に流出、そして海に流れ込んだ大量の流木が大きな被害でした。住宅浸水や河川氾濫などが発生しなくて幸いでした。

お盆も終わり、子供たちの夏休みも終わり、厳しい残暑があっても秋の気配が漂っています。夏の疲れが出やすい季節ですから十分にご自愛ください。町も2年遅らせた認定こども園の整備に向け準備を進めています。なんとか整備費用も圧縮できそうです。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。